



南牧中通信

☆教育目標☆

共に学び、自ら考え、主体的に行動する生徒の育成

〒370-2806

南牧村大日向1045

TEL:87-2501 FAX:87-2550

E-mail

nan-jht1@nanmoku.ne.jp

(文責: 校長 久保 俊明)

☆☆スポーツの秋☆☆

野山の紅葉も盛りを過ぎ、だんだんと冬の足音が聞こえてきています。秋は、身体を動かすのには最適な季節です。南牧中では行事としての運動会が行われないので、体育の時間を使って、10月30日にミニミニ運動会が実施されました。4種目を戦って、最後のリレーは接戦になりましたが、結局3対1で、赤団が勝利しました。また、体育では、下仁田町で接骨院を開業されている木暮守宏先生を講師に招いて、柔道の授業を実施しました。楽しく武道を学ぶことができました。



二人三脚リレー



馬跳び



リレー



柔道の授業

☆☆☆食欲の秋☆☆☆



学年毎に、上田栄養士さんや下仁田町給食センターの金井栄養教諭をお招きして、食育指導を行っています。その際に教えていただいたことも参考にして、「早寝早起き朝ご飯」活動の一環で、朝食レシピ作りに取り組みました。左の写真は、生徒が考えたレシピなどが紹介されているコーナーです。11月21日には、自分たちで考えた朝食レシピをもとに調理実習を行います。栄養満点で食欲をそそる食事が出来上がることでしょう。生徒がレシピを持ち帰ったら、ぜひご家庭でも朝食作りを实践させてみてください。

☆☆☆読書の秋☆☆☆

2階廊下の一角に、図書室に新たに入荷した本の紹介&貸し出しコーナーがあります。3冊あるのですが、次々に借りてくれる人が出てきて、写真を撮った時点では1冊だけ残っていました。忙しい南牧中生ですが、時間を作って読書をし、心を豊かにしてほしいと思います。親子一緒に、1日20分間読書に取り組んでみ



てはいかがでしょうか？たまにはテレビやパソコン等から離れて、本に親しむのも素敵ですね。

◎ お忙しい中、三者面談では大変お世話になりました。お話しいただいた内容を、今後の教育に生かしてまいります。

◇◇前期生徒会から後期生徒会へバトンタッチ！◇◇



前期生徒会本部役員から挨拶

10月26日の生徒会集会では、甘楽富岡地区のいじめ防止フォーラムに、学校代表として参加してきたK・K君から、当日活動した内容についての伝達がありました。相手に寄り添って思いやることの大切さを伝えてくれました。そして、最後に前期生徒会本部役員から任期終了にあたっての挨拶がありました。行事や集会の際には積極的に働いてくれ、いつも楽しい会にしてくれました。本当に素晴ら

しい本部役員さんでした。

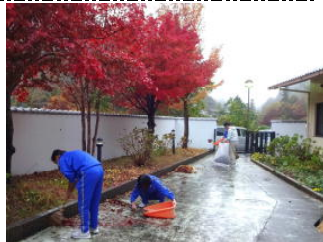
そして11月12日には生徒総会が開催され、I・H会長を中心とした後期本部役員による生徒会活動が本格的にスタートしました。後期の生徒会目標は「MSU（周りを見て積極的に動く）」です。前期の役員さんをお手本として、今後活躍してくれることと期待しています。「笑顔」、「協力」、「あいさつ」を合言葉に、全校生徒をリードしていったほしいと思います。



後期生徒会本部役員から目標発表

△▽さわやかホーム訪問△▽

11月6日に、さわやかホーム訪問が行われました。前回は、悪天候のため中止になったので、今年度



2回目の訪問です。今回は、ベランダの清掃や庭の落ち葉はきをしてきました。掃除した場所がきれいになり、感謝の言葉もいただけたので清々しい気持ちになったと思います。

△▽薬物乱用防止教室△▽

11月8日には、学校薬剤師の大井田先生をお招きし、薬物乱用の怖さや日頃より気を付けなければ



ならないことなどを教えていただきました。話を聞いているときの真剣な態度や、講話後の質問内容などについて、講師の大井田先生からお褒めの言葉をいただきました。

△▽介護の仕事に関する講話△▽

11月19日に、「さわやかホーム」より石井施設長さん、南雲介護主任さん、白石相談員さんの3名をお迎えし、介護の仕事についての説明や現状、介護の仕事に携わってきた体験談等をお聞かせいただきました。その後には、高齢者疑似体験を全生徒が体験させていただきました。貴重な機会をいただきました。



△▽第2回避難訓練（地震を想定）△▽

今年度2回目の避難訓練を11月19日に実施しました。今回は地震を想定した避難訓練でしたので、最初の放送で机の下にもぐり、2回目の放送で避難開始となりました。全校生徒の避難が完了するまでにかった時間が59秒ということで、素早く避難することができました。

その後の講評で、真剣に素早く避難完了したことを誉め、地震が起こったときには正しく素早い判断と行動をとり、最後には自分の命は自分で守ることが大切であることを伝えました。そして、二次災害に対する備えも日頃からきちんと考えておくことをお願いしました。